

## 編集後記

日本機械学会技術と社会部門のニュースレター27号をお届けします。

震災から1年以上が過ぎて、国内はようやく社会的にも経済的にも落ち着きを取り戻し始めています。現在はオリンピックが開催されていて、日本の選手活躍が届けられるたびに回復へと向かっている日本を実感します。機械というものが日本の復興に今後どのように関わっていけるのか、様々な分野・部門でその模索が行われていることと思います。技術と社会部門は、正に工学・技術と社会のつながりについて考えなくてはならない立場にいますので、今後日本の復興発展に向けて技術が何を与えられるのか、情報を発信していく必要性を感じます。そのためにもニュースレターを今後より充実させていかななくてはならないと考えます。

今回の発行に当たってご協力いただいた執筆者の方々におかれましては、ご多忙の所、短い期日設定にも関わらず快くお引き受けいただきましたこと感謝申し上げます。

広報委員会委員長 佐藤 智明（神奈川工科大学）

発行： 社団法人 **日本機械学会**

The Japan Society of Mechanical Engineers

技術と社会部門

部門長 星 朗（一関工業高等専門学校）

事務担当 曾根原 雅代

2012年7月31日発行

ISSN 2185-3177

編集：第90期 広報委員会

委員長 佐藤 智明（神奈川工科大学）

幹事 小宮 聖司（神奈川工科大学）

委員 吉田 喜一（都立産業技術高専）

山本 利一（埼玉大学）

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.27

(C)著作権: 2012 社団法人 日本機械学会 技術と社会部門